

小学校のあり方検討保護者意見交換会の概要

【みさき小学校】

日 時 令和7年8月20日（水） 午後7時00分～午後7時50分
場 所 みさき小学校 3階 みさきルーム
参加者 5名

主な意見・質問

○小学校のあり方について

説明：先程の説明の中で複式学級という言葉が出てきましたが、子どもの数が減ってしまっ、1学年の人数が一桁になってしまった時に、学校生活が困難になります。例えば1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生というように複数の学年でグループを作って授業を進めて行くという学級が複式学級です。児童数の推移の表からも分かるように、令和13年でもまだ南知多町の半島側の小学校で複式学級をやらなければいけないという状況にはなっていません。

Q：愛知県内で複式学級はあるのか。

A：三河の山間部などにはあります。場合によっては、学年1人というところもあります。岐阜や長野などの山間部では、学年ゼロの学校もあります。中学校統合を急いだのもそうでしたが、やはりただ授業を教わるだけでなく、友達との関係の中で学んでいくのが学校の姿ですので、他者とかかわる学びが出来なくなっていくのを防がないといけないと思っています。今すぐというわけではありませんが、さらなる統合を検討する時期にきています。

Q：複式学級になると担任の先生は1人しかつかないのか。

A：町が補填すれば2人つけられるかもしれませんが、複式学級というのは1人の教師が2つの学年の授業を同時に進めていくことが基本になります。例えば、1年生の授業をやっている時には、2年生は事前に与えられた課題を自分で取り組むことになります。児童の人数が少ないのできめ細やかな対応ができるかもしれませんが、複式学級は教員としても授業がやりにくいですし、子どもたちにとっても自分の学年の授業ばかりでないので取り組みにくいということがでできます。

Q：人口を増やしていただけないか。減っていくのは分かっているが教育の面で親がここに住みたいと思うような魅力があれば。

A：この分野になってくると教育課の分野でないので、教育課の役割としては、他の市町に住んでいる保護者の方が南知多町で子育てしたいと思っていただける学校を作ることだと思っています。

Q：人口が減っているので、保育所の保護者の方は統合するのだろうと思っている。中には、みさき小を残してほしい、少人数がいいと思っている人もいる。地域の方はそう思っているが、保護者の方は少人数より統合した方がいいと思っている。

A：小学校がなくなるような地域だと移住するにしても選択してもらえないという声も聞いています。

Q：今の小学校は、保護者もそうであるが、子どもたちは楽しそうである。みんな伸び伸び、不安はなさそう。地域の行事にも参加している。中学生は統合して活動範囲が増えた。南知多町全体で楽しんでいる。

A：中学校の生徒だと船代が無料で島に行ったり、島の生徒が半島側に来たりすることができます。実際に中学生は、町内をすごく動いています。それ自体はよかったと思っています。

Q：小学校が1箇所になると、バス通学となる。子どもにも負担がかかる。みさき小になって、大井の最後の方なので、帰ってくるのに1時間くらいかかった。中学生でも酔い止めを飲んでいると聞いたこともある。小さい子はトイレが我慢できないことがある。

A：最初は、新しくできた道路（農道）を利用しようとしたのですがアップダウンがきつくて車酔いしてしまう生徒がいたのでやめました。普通の乗用車なら気になりませんが、バスは揺れます。農道なので舗装面もあまりよくありません。そういう理由から国道を通るようになりました。ただ、最終的には山に若干入るので酔いやすいところはあるかもしれません。

Q：複式学級になる条件は。

A：愛知県は2学年（3・4年生、5・6年生）で14人にならなかった時、1・2年生は合わせて7人にならなかった時に複式学級になります。日間賀島は今、将来的になる可能性はありますが、下の学年が人数的に挽回すれば複式学級にならない可能性もあります。そういった人数の少ない状態がずっと続くときに複式学級になります。

Q：望んで複式学級になることはできるのか。

A：ぎりぎりの人数になった時に申し込めばできるかもしれませんが、子どもたちにとって2つの学年と一緒に授業を受けるということは、マイナスな部分が多いので望ましい状態ではありません。

Q：国語や算数はテレビ会議でやることによってそれなりの人数を確保すれば複式学級でなく1つの学級としてみなして授業を受けられるのかなと思うが、そういうことは可能か。体育の授業だけ複式学級でやるような。

A：山間部などでも子どもたちにとってデメリットにならない工夫はしていると思います。体育は少ない人数だとやれる種目がないので、小さい学校だと複式学級になっていなくても合同でやっています。みさき小は既に合同でやっている学年もあります。

Q：将来的に小中一貫とか保育園など全部一つにまとめる方向にいく可能性はあるのか。

A：可能性はあります。個人的な意見ですが、中学校新校舎の建設について、先程説明した3か所の中では、総合体育館の周辺が一番いいと思っています。総合体育館にはメインアリーナとサブアリーナの2つがあるので小学校を近くに造ることになれば十分活用することができます。何億円という体育館の建設費を節約することができます。ただし、周辺が民地なので土地の買収が必要です。協議の様子によっては小中一貫校という可能性もあります。

Q：町内に民間のプールがない。プール授業もなくなっていくのか。

A：他の市町でも特に中学生はプールの授業をやめた学校があります。大府市は、プールの授業をやめて、子どもたちにプールの回数券を配っています。ただ、南知多町は近くに海がある地域なのでそういうことはしたくありません。児童に泳げる力をつけさせたいので小学校の水泳授業は確保したいと思っています。南知多町は今、3つプールがありますが、これらのプールも老朽化が進んでいます。内海小、みさき小、篠島小にあるプールのうち、1つは残したいと思っています。また、これだけ暑いと今後、屋外プール自体が危険ということにもなってきます。残すとすると島の子も利用できるのみさき小のプールの可能性が高いと考えています。新しく造るとすると豊浜がいいのかなと思います。

クラス替えをしながら9年間過ごしていけるような複数の学級がある学校なら小中一貫でもいいと思いますが、1学級しかない学年が小中一貫というのは9年間人間関係が変わらずに進んでいってしまうので、小中一貫にするメリットもないかなと思います。

Q：小中一貫校にしたいのか。

A：完全な小中一貫はできません。小学校について、離島は残す予定でいます。小学1年生の子が荒れた海を渡って学校に通うというのは避けたいと思っています。完全に9年間小中一貫というのはできないと思っています。半島側の3つの小学校が一緒になって、島の小学校が途中で合流するというのは考えられる範囲ではありますが、先

ほど言ったように少ない人数で9年間ずっと進んでいくのは避けられないところではあるので、小中一貫校のメリットを感じません。

小中一貫校でなくても、例えば中学校の敷地内に小学校を造って、体育館もグラウンドも特別教室も一緒に使うなど、そういうことをすれば予算的には助かるということはありません。建設費をできるだけ抑えたいので、小中一貫校でなくても小学校と中学校が併設されていれば両方で同じ施設を使うことができます。

Q：そういうメリットが分かったうえで、ただ、町としては統合一辺倒に推進する訳にはいけないので、まずは保護者の方から統合に対して乗り気なのか乗り気でないのか意見を聞いているということか

A：今は意見を聞いている段階ということです。保護者の気持ちとしては「やむを得ない」とか、「ある程度の人数の中で子どもたちが育ってほしい」という意見が、各地区であるとは思いますが。

多分皆さんは現状の出生数を知らないと思います。感覚的に出生数が減っていることは感じていると思いますが、町全体の数字は知らないと思います。まずそこを知ってもらったうえで今後どうしていこうかということをみなさんと考えていきたいというのが今回の意図です。

Q：町内全体の保護者会というのはないのか。3つに分けたから来にくいのではないのか。南知多町全体でやったら来てくれるのではないのか。

A：それも考えても良いのかもしれません。